

学校名 たかやましりつきよみちゅうがっこう
高山市立清見中学校

所在地 岐阜県高山市清見町三日町477-1

電話 0577-68-2035

1 本校の概要

本校（生徒数94名、教職員17名）は、高山市の南西に位置し、「誰一人として寂しい思いをする人のいない学校」を合い言葉に、人権教育にも力を注いでいる。図書館教育の歴史は長く、とりわけ生徒の豊かな心の育成を図る読書指導は一貫して取り組んでいる。

2 本校の実践の概要

(1) 豊かな心を培う読書指導について

本校では、16年前から給食配膳時を利用した「配膳時読書」を実施してきた。本に親しむことにより、自分の内面と対話し、豊かな感性や情緒を培うことができた。また、「学校全体が図書館」という構想に立ち、空き教室や空きスペースを利用して生徒たちが身近に図書館を感じられるように工夫をした。

- ・ 図書室（心のオアシス）…生徒の読書生活が息づく部屋
- ・ 学習室（学習活動を支える）…学習の足跡が分かる部屋
- ・ 研修コーナー（研修の足跡を）…体験学習、平和学習の足跡の掲示
- ・ 廊下・教室（読書意欲の喚起）…お薦めの一冊など

僕にとって配膳時読書の時間は、一日の中で本当の自分とじっくり向き合う唯一の時間でした。忙しい学校生活3年間に、毎日少しでもこのような時間がもてたことで、自分自身落ち着いた生活ができたと思っています。読書とは単に「本を読むこと」ではなく、



自分の内面と対話することでもあったと感じました。（生徒の感想より）

自分の内面と対話することでもあったと感じました。（生徒の感想より）

(2) 自ら学ぶ能力を育てる利用指導の充実

- ① 教科の学習内容にかかわって「戦争と平和」「人権学習」「国際情勢」「福祉」などのコーナーを設置し、生徒たちが目的とする学習資料を選べるようにした。
- ② 学習室は、教科担当がそれぞれの学習内容に合わせ、生徒たちの学習活動に対応できるよう教科ごとに配架している。
こうした取組により、生徒たちが短時間で資料を探索できるようになり、効率的な学習が可能になった。

(3) 情報活用能力の育成する「情報作文」

生徒が自ら学ぶためには、主体的に情報を収集、処理、活用する能力を育成する必要がある。この能力を育てるために「情報作文」の時間を設けている。

- ① 20分間で記事を読み、指定された用紙に作文を書く。
- ② 書き慣れたところで個々課題を決めて文章を書く。
- ③ 各学年の教師で朱書きを入れ、図書館前の掲示板に全員の作文を掲示する。
- ④ 全校朝会で代表者が作文を発表し、交流し合う。

3 成果と今後の課題

- (1) 配膳時読書による読書時間の確保により、生徒は内



＜「情報作文」の取組＞

- 面と対話し、豊かな感性や情緒が養われた。
- (2) 教科との密接な関連により、学習活動を支え、自ら学ぶ能力を培う図書館経営ができた。
- (3) 情報作文の継続した実施により、生徒の情報活用能力や思考力、表現力が向上した。
- (4) 今後は、個に応じたレファレンスワークを行い、より幅広い読書、質の高い読書に挑戦させたい。